

江田島市



第10号

2009年（平成21年）8月1日発行

発行／社会福祉法人

江田島市社会福祉協議会

〒737-2302

広島県江田島市能美町鹿川12060番地

（能美福祉センター内）

TEL (0823) 40-2501 FAX (0823) 40-2502

メールアドレス info@etajima-syakyo.org

ホームページ http://etajima-syakyo.org/

「ぴあサポートサロン」 やってます！



おいしそうですね

ぴあサポのソーメン
のできあがり！

～ぴあサポートサロンとは～

障がいのある方たちが、地域でイキイキと自分らしい生活を送るために、障がいの種別や年齢に関係なく、交流を深めていく集まりです。内容は参加される皆さんで話し合っ決めていきます。障がいのある方も無い方も、どなたでも気軽に参加できる楽しいサロンです。皆様のご参加お待ちしております。

※サロンでは介護はおこなっていません。介護が必要な方は事前にご相談ください。

※開催場所までの送迎はおこなっていません。バスなどをご利用ください。

※毎回茶菓子を購入します。お菓子代と活動にかかる費用は自己負担となります（100円程度）



おおて！

うーん...
手ごわいのう

今年度の「ぴあサポートサロン」開催のお知らせ

場 所 ゆうゆう（自立支援センターあおぞら）

日 程 毎月第2土曜日の10時から16時まで

※都合により変更になる場合があります。参加される前に問い合わせをしてください。会場の場所や移動方法など、わからない事は下記にお問い合わせ下さい。

江田島市障害者生活支援センター

江田島市大柿町大原505番地（江田島市役所大柿分庁舎）

電話（0823）57-2215

ファックス（0823）40-3573

EX-ℒ etajimasien@iris.ocn.ne.jp

社協だよりは、皆様からの社協会費や寄付金によってつくられています。ご協力ありがとうございます。

平成20年度事業報告と決算が5月27日の理事会で認定、
評議員会で承認されました。

事業報告の概要

地域社会を取り巻く環境は、少子高齢化、地方の過疎化が進行し、急速な経済の後退による雇用不安が深刻になるなど厳しさを増しています。本会では平成20年度は、19年度策定した「地域福祉活動計画」に沿って各事業を推進してきました。そんな中で、特に今年度は住民主体の組織として事業を安定的に推進していきけるよう「経営改革推進本部」を立ち上げ経営改革に取り組みました。また、新規事業として、小

地域での行政と住民の支えあい活動を推進するため「小地域福祉活動推進事業」を実施しました。なお、各事業の主な概要については次のとおりです。

一、地域福祉事業は、「小地域福祉活動推進事業」を中町・三高地区をモデル地区として実践しました。また、「地区社協」「ふれあいサロン」、「地域まるごと福祉教育」の育成に努めるとともに「えがおえたじま応援センター」、「しおかぜネット」の拡充を図ってきました。合わせて、地域住民の権利擁護を推進するため「法人による成年後見」「福祉サービス利用援助事業」にも積極的に取り組みました。

二、介護保険サービス事業は、職員を各種研修会に積極的に参加させ資質向上、サービス向上に努めましたが、「改正介護保険制度」の影響もあり、通所介護事業（能美・大柿事業所）と訪問介護事業は増収となりましたが、居宅介護支援事業と福祉用具貸与事業が減収となりました。また、法人運営事業へ繰入をしたため介護保険事業全体では単年度収支が赤字となりました。

20年度事業計画に基づき概ね順調に遂行することができました。

平成20年度は、一般会計が介護保険制度の改正等の影響を受け収支とも減少しましたが、特別会計は、「あおぞら」が小規模通所授産施設から就労継続支援B型事業所に移行したことに伴い、自立支援センターあおぞら特別会計となり収支とも増加した決算となりました。

決算のあらまし

一般会計

当期収入は、市補助金・介護保険収入等合計3億2,244万9千円で、当期支出は人件費支出・事業費支出等合計3億2,653万6千円となりました。

当期収入から当期支出を引いた当期収支差額は、3年続けてマイナスとなりました。そのため、当期末支払資金残高は408万7千円減少し、8,049万2千円となりました。その内、国民健康保険団体連合会からの介護報酬が3月遅れとなるため必要な介護保険事業の運転資金約6,000万円を引いた実質の繰越金は2,049万2千円となりました。資金収支計算書については、上記のとおりです。

一般会計資金収支計算書

単位：千円

科 目	予算額	決算額	科 目	予算額	決算額
会費収入	3,008	2,684	人件費支出	234,568	218,613
寄付金収入	1,800	1,200	事務費支出	31,759	25,159
経常経費補助金収入	35,600	35,560	事業費支出	44,199	33,965
助成金収入	3,016	3,158	利用者負担軽減額	420	0
受託金収入	23,508	22,477	貸付事業等支出	8,000	2,182
事業収入	1,601	1,777	助成金支出	7,803	7,725
貸付事業等収入	8,000	2,396	負担金支出	60	52
共同募金配分金収入	5,765	5,777	会計単位間繰入金支出	5,000	5,000
負担金収入	1,138	1,089	経理区分間繰入金支出	22,968	22,950
介護保険収入	215,605	208,727	施設整備等支出	7,776	6,970
（居宅介護支援事業）	（39,553）	（34,781）	財務支出	3,929	3,920
訪問介護事業	61,500	60,191	当期支出計	366,482	326,536
通所介護事業	82,172	87,036	予備費	501	0
福祉用具貸与事業	（32,380）	（26,719）	当期末支払資金残高	58,394	80,492
自立支援費収入	13,094	5,992	合 計	425,377	407,028
雑収入	590	884			
受取利息配当金収入	486	487			
会計単位間繰入金収入	718	717			
経理区分間繰入金収入	22,958	22,951			
財務収入	10,575	6,573			
当期収入計	347,462	322,449			
前期末支払資金残高	77,915	84,579			
合 計	425,377	407,028			

三、障害者福祉事業については、障害者相談支援センター（市からの委託）において障がいのある方からの各種の相談に積極的に対応してまいりました。また、本年度から障害者自立支援法上の就労継続事業所「自立支援センターあおぞら」として事業を開始した施設は順調に事業を推進することができました。

その他の各事業についても、平成

自立支援センター

あおぞら特別会計

この特別会計は、障害者自立支援法の施行に伴い授産施設会計から就労継続支援会計へ平成20年度に移行しました。このことに伴い主な財源が定額の補助金の運営費収入から、利用者の人数によって変動する自立支援費収入になり、福祉事業活動収入が前年度と比較して2,136万9千円増収の3,285万9千円となりました。また、事業所が「あおぞら」と「ゆうゆう（旧小規模作業所友々ハウス）」の2カ所になったことに対応するため職員を増員したことに伴い、人件費も前年度と比較して1,011万2千円増加の1,862万円となりました。

資金収支計算書については、次のとおりです。

自立支援センター
あおぞら特別会計資金収支計算書

単位：千円

科 目	予算額	決算額	科 目	予算額	決算額
就労支援事業収入	6,600	6,440	就労支援事業支出	5,860	5,712
（灯ろう作り事業収入）	（3,900）	（3,870）	人件費支出	20,420	18,620
員般通し事業収入	900	864	事務費支出	4,799	4,189
小物・葉書作り事業収入	700	398	借入金利息支出	179	178
空缶回収事業収入	600	420	会計単位間繰入金支出	723	717
フィルター梱包事業収入	400	387	固定資産取得支出	620	610
その他の事業収入	100	501	借入金元金償還金支出	2,970	2,970
私的契約利用料収入	450	354	積立預金積立支出	740	728
自立支援費収入	24,792	26,088	当期支出計	36,311	33,724
補助事業等収入	1,112	1,077	当期末支払資金残高	16,904	21,126
寄付金収入	200	125	合 計	53,215	54,850
借入金利息補助金収入	179	178			
受取利息配当金収入	8	37			
会計単位間繰入金収入	5,000	5,000			
借入金元金償還補助収入	2,970	2,970			
当期収入計	41,311	42,269			
前期末支払資金残高	11,904	12,581			
合 計	53,215	54,850			

平成21年度事業計画と予算が3月30日の理事会で同意、評議員会で議決されました。

事業計画の概要

基本計画

社会情勢は、本格的な少子高齢化、総人口の減少、地方の過疎化が進み、自殺、いじめ、子育てや介護の虐待、消費者被害、高齢者の権利侵害等社会問題が増加しています。また、世界的な金融不安から景気が急速に後退し、雇用不安が深刻になっていきますが、一方では、福祉サービスの利用者増や担い手の離職に加え求職者の減に伴う福祉人材の不足が顕著になっています。

こうしたなかで、昨年厚生労働省においてまとめられたこれからの福祉のあり方では、住民や支援を必要とする人、ボランティア等多様な民間が担い手となる「新たな支え合い」を拡大し、「住民と行政の協働による新しい福祉」すなわち、地域に「新たな公」を創出していくことが求められています。江田島市においても、様々な生活課題を抱える地域住民を支えるための

地域福祉活動は益々重要となり、本会はその中核を担っていく必要があります。

本会では、地域福祉事業を最重点事業として各事業を推進していきますが、市の厳しい財政状況から今後、本会への補助金については、減額となることが予測され現職員体制での法人運営・地域福祉推進は困難な状況となっています。そのため、昨年立ち上げた経営改革推進本部において、本年度から事業・組織・財源確保等経営基盤充実を図るため、支所を廃止し本所へ組織を一元化することとなりました。本年度においても、昨年度同様に平成19年度に策定した地域福祉活動計画に基づき地域福祉を實踐し、住民参加による福祉を充実することに視点を置きながら、福祉の向上を推進してまいります。

以上を基本方針として、役職員一丸となつて一層の地域福祉の増進につとめてまいります。

具体的な事業

- 1 地域みんなで助け合い（共助）
 - えがおえたじま応援センター
 - ふれあい・いきいきサロン事業
 - しおかぜネット
- 2 住民みんなでまちづくり（自助）
 - 小地域福祉活動推進事業
 - 地区社協の育成
 - 地域まるごと福祉教育事業
 - 災害に負けないまちづくり
- 3 安心して暮らすためのお手伝い（公助）
 - 介護サービス事業
 - 居宅介護支援事業
 - 訪問介護事業
 - 通所介護事業
 - 福祉用具貸与事業
 - 総合相談事業
 - 心配ごと相談事業
- 5 権利擁護事業
 - 福祉サービス利用援助事業「かけはし」
 - 法人による成年後見の受任
- 6 障害者支援事業
 - 障害者自立支援センター「あおぞら」の経営
 - 障害者生活支援事業
 - 障害者居宅支援事業
 - 法人運営の適正化
- 7 持続可能な地域福祉の推進体制の確立
 - 事務局体制・各事業の効率的な運営を推進
 - 職員の資質向上のための研修会等を積極的に実施
 - 専門部会を設置し役員・評議員参画による法人運営の適正化を推進
 - 財源確保
- 8 その他の事業
 - 自立支援型グループホームを指定管理者として運営
 - 配食サービス（配送）の受託
 - 貸付事業の実施
 - 共同募金活動
 - 福祉人材育成のための教育実習生の受入れ
 - その他福祉を目的とする事業

一般会計予算の事業別内訳

事業区分	予算額
法人運営事業	45,487千円
共同募金配分金事業	5,621千円
地域福祉事業	16,569千円
障害者生活支援事業	10,013千円
グループホーム事業	7,570千円
居宅介護支援事業	65,935千円
訪問介護事業	80,189千円
通所介護事業	107,699千円
福祉用具貸与事業	32,078千円
基金運営事業	240千円
資金貸付事業	13,000千円
退職金積立事業	4,684千円
合 計	3億8,908万5千円

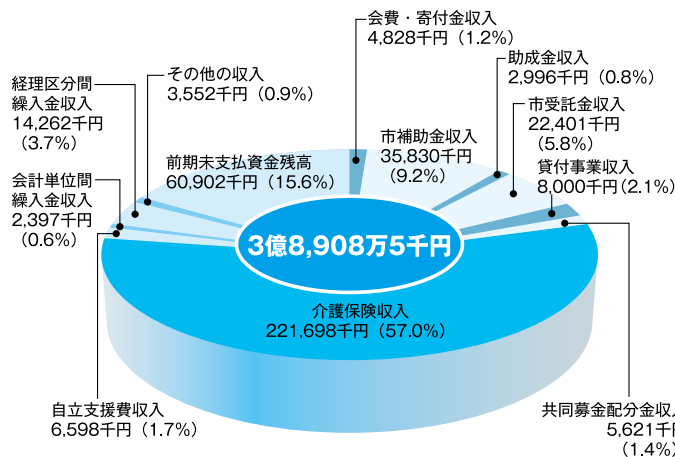
※支払資金残高を含む

自立支援センター あおぞら特別会計予算の内訳

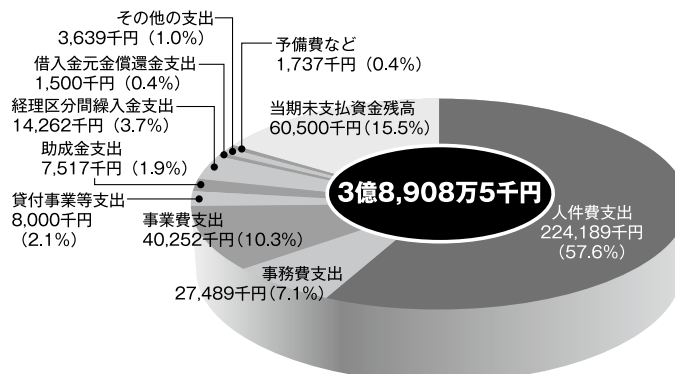
就労支援事業収入	6,300千円
私的契約利用料収入	320千円
自立支援費収入	26,510千円
寄付金収入	100千円
借入金利息補助金収入	143千円
受取利息配当金収入	50千円
借入金元金償還補助収入	2,970千円
前期末支払資金残高	16,904千円
収入合計	5,329万7千円
就労支援事業支出	6,300千円
人件費支出	18,950千円
事務費支出	5,354千円
借入金利息支出	143千円
会計単位間繰入金支出	2,397千円
借入金元金償還金支出	2,970千円
予備費	279千円
当期末支払資金残高	16,904千円
支出合計	5,329万7千円

一般会計予算の内訳

一般会計収入



一般会計支出



障がいのある方と一緒に 外出を楽しもう！

「外出支援ボランティア入門講座」を開催、

ショッピング、外食、映画、旅行など、障がいのある方でもない方もお出かけを楽しみたい気持ちは同じです。地域には外出を支援してくれるボランティアさんが必要とされている方が多くみられます。

そこで江田島市社協では、「障がいのある方と一緒に外出を楽しもう」をキーワードに「外出支援ボランティア入門講座」を大柿老人福祉センターで3日間に渡って開催しました。この講座は初心者の方でも安心して受講できるよう「車椅子の基本的な操作方法」から始まり「障がいのある方との交流」を経て「外出支援実習」という3段階で構成され、実習には今回も「車椅子で介助される役」として「ワークセンターおきみ」の利用者さんにご協力いただき、公共の交通機関を利用しながら、広島市南区皆実町にある「ゆめタウン」へお買い物ツアーを実施しました。



車椅子を操作する際の「声かけ」は必須です



公共の交通機関を利用してお出かけ実習



バリアフリーな
社会を目指して



「ボランティアは楽しくなければ続かない」この言葉を大切に、講座を修了した皆さんがボランティア活動を持続できるよう「良い出会い」「楽しい活動」をコーディネートしていきたいと思っています。

実習当日は晴天に恵まれ、初夏を思わせるような気候の中、受講者全員で協力し、声をかけあいながら道中の段差や坂を乗り越え、無事「ゆめタウン」へ到着！それからは、事前に計画したとおり色々なお店を巡って、ゆつくりお買い物や食事を楽しみました。講座を修了した皆さんからは「初めての経験で緊張したけれど、楽しい実習で時間が経つのが早く感じました。また機会があれば一緒にしたいです」と嬉しいご意見を多数いただきました。



幾多の段差を乗り越え、無事目的地へ到着



「介助する側」「される側」お互いを楽しめました



車椅子でも「グリーンムーバー」なら、乗り降りも車内も楽々♪



下り坂は後ろ向きで介助します

「地域ぐるみ」で子どもたちを見守る！！



4つの掲示板上にローテーションで掲示されます



偶然お孫さんの絵を見つけて感激！！

沖美町三高地区三吉II自治会では、「地域全体で子どもたちの安全を見守るために、まず自分たちの地域に住む子どもたちを知ることからはじめよう」と、三高小学校と協力して自治会内にある4つの掲示板を「小学生児童青空掲示板」と銘打って子どもたちが描いた絵画を展示することにしました。展示する絵画には、児童の名前と学年を明記しており、ひと目見て「おお！これは〇〇さんこの子じゃね」とわかるように工夫されています。

障がいのある方が出来る軽作業を探しています

自立支援センターあおぞらは現在33名の障がいのある方が通所し、住み慣れた地域で自立して暮らすために、また一般就労を目指し軽作業をしながら頑張っています。

あおぞらでは現在、盆灯籠の製作販売・かき養殖業者から委託を受けて貝殻通し作業・大柿分庁舎の清掃作業・アルミ缶回収などを行っています。また、自主製品を作りミカンマラソンなど江田島市のイベントで販売しています。



「ヒロシマMIKANマラソン」バザーで自主製品販売



手作り作品

利用者のニーズにあった事業内容にしていくためにどのような支援があれば就労も含め安心・安全な暮らしが出来るか考え、障がいのある方がもつと「働ける社会」をめざしています。

近年仕事量が減少傾向にあり仕事獲得に苦慮しております。

かきの貝殻通しや作業（内職仕事）・公園の清掃作業・ラベル貼りや箱折りなどありましたら、お願いいたします。また、手すき和紙で作ったはがき・封筒・ビーズ製品・アームバンド等手作り作品の委託販売をしていただくお店も募集しております。詳しくは、自立支援センターあおぞらへお問い合わせ下さい。

障がいのある方の自立支援にご協力お願いいたします。



お問い合わせ先
江田島市大柿町大原700番地
電話(FAX兼用) : 0823-40-3501

8月13日まで盆灯籠販売中

1本 400円と500円の2種あります。

皆様のご利用をお待ちしています



自立支援センター

江田島市障害者生活支援

センターから

お知らせ

「ぶくし・かいじ」

巡回相談

障がいのある方や高齢の方のあらゆる相談を、毎月身近な地域で行っています。

8月26日(水)

飛渡瀬老人集会所

8月28日(金)

大須老人集会所

午後1時半～午後三時半

※9月以降の日程は、しおかぜ通信に掲載いたします。

【お問い合わせ先】

障害者生活支援センター

☎ 57-2215

地域包括支援センター

☎ 40-3571

まごころ

たくさんのご寄付ありがとうございました。
お寄せいただいたご寄付は、福祉まちづくり推進のため、有効に活用させていただきます。

(平成21年2月1日～平成21年6月30日受付分)

※本会への寄付金については、所得税法による寄付金控除の措置があります。
なお、勝手ながら敬称は省略させていただきます。

香典返し

大原 楠部 俊雄	宮ノ原 山口 孟	中央2 川本 修司	柿浦 中木 孝	大君 藤村 政雄	鷲部 藤本 人	鹿川 大津 雅生	秋月 川地 希望	三吉 丸上 アイコ	秋吉 田上 フミエ	大君 打田 秋保	鹿川 島田 キヨ子
----------	----------	-----------	---------	----------	---------	----------	----------	-----------	-----------	----------	-----------

一般寄付

大柿町昭和14年3月期 大古高等学校同窓会一同	鹿川 匿名 希望	福岡市 中村 和子	江田島地区保護司会	中町 富永 悦子	大君 幸田 郁代	教法寺仏教婦人会
----------------------------	----------	-----------	-----------	----------	----------	----------

ホームページ リニューアルのお知らせ

この度、閉鎖していました江田島市社会福祉協議会のホームページをリニューアルして再開いたしました。

社協の事業紹介や、行事案内、各種パンフレット等を掲載していますので、ぜひアクセスしてください。

江田島市社協

検索

ホームページアドレス

<http://etajima-syakyo.org/>

自立支援センターあおぞらに
ご寄付ありがとうございました。

お寄せいただいたご寄付は、障がいのある方の福祉のために有効に活用させていただきます。

飛渡瀬妙覚寺仏教婦人会
深江宗顕寺仏教婦人会

専門部会を設置しました

今年度から、理事・評議員の社協経営への積極的参画を目的として、次の3つの専門部会を設置しそれぞれ第1回目の会議が開催され、部長1名副部長1名の選任と今後の

運営方法等を協議しました。

1 総務部会

【部会長】 中村博政副会長
【副部会長】 川上 彪評議員
【所 管】 財政、人事および企画ならびに他の部会に属さない事項に関すること。

2 地域福祉部会

【部会長】 三浦 保理事
【副部会長】 大川 博正理事
【所 管】 地区社協、ボランティア・小

地域での支え合い活動・権利擁護事業等、地域福祉全般に関すること。

3 在宅福祉部会

【部会長】 小方 憲三理事
【副部会長】 毛利下隆男理事
【所 管】 高齢者、障害者、および児童の福祉ならびに在宅福祉サービス事業等に関すること。



6/17 地域福祉部会

社協職員 人事

平谷 康明

金田 洋二

澤田ひとみ

山本 秀男

〔平成21年4月1日付〕

事務局次長兼総務課長

Ⅱ (旧) 事務局次長兼経理係長事務取扱

在宅福祉課長兼障害者福祉係長・高齢者福祉係長・大柿事業所長事務取扱

Ⅱ (旧) 大柿支所長

地域福祉課長兼総務課総務・企画係長事務取扱

Ⅱ (旧) 総務・企画係長

地域福祉課地域福祉係嘱託事務員 (江田島事務所)
Ⅱ (旧) 江田島支所長 (嘱託員)